

令和6年度大阪府がん対策推進委員会第1回小児・AYA世代のがん対策部会（概要）

1. 日 時：令和6年7月31日（水）16時00分～18時00分
2. 場 所：国民會館大阪城ビル 12階 小ホール
3. 報 告：
 - （1）長期フォローアップ支援事業の実施について（報告）
 - （2）大阪府小児・AYA世代のがん患者支援事業補助金のメニュー見直しについて（報告）
 - （3）地域統括相談支援センターの事業開始について（報告）
4. 委員からの意見要旨
 - （1）長期フォローアップ支援事業の実施について（報告）

【意見要旨】

 - 事業の対象拡大について
 - ・紹介元医療機関が小児がん拠点病院・連携病院だけなので、早急に拡大が必要。
 - ・事業の対象となる薬剤の種類を増やしてほしい。
 - ・今後は循環器・呼吸器・腎臓疾患のような他の疾病に関する検査も、本事業で実施する検査項目となるよう検討してほしい。
 - 事業の周知について
 - ・現在病院にかかっている人にこの事業をどう周知していくかは今後の課題。
 - ・医療機関にかかっている方でも、年に1回しか受診されない方も多くいるので、医療者からの周知だけでなく、患者間のコミュニティ等での周知は必要。
 - 紹介元医療機関にかかっていた方でも、時間が経っていれば、カルテが残っていないというような事例が出る可能性も考えられ、対応の検討が必要。
 - 小さいころにどのような治療を受けたかを患者自身が理解しておくためのサポートも必要だと感じる。
 - （2）大阪府小児・AYA世代のがん患者支援事業補助金のメニュー見直しについて（報告）

【意見要旨】

 - 新規メニューについて
 - ・補助の対象を、病院だけでなくホスピス等も含めることを検討してほしい。
 - ・子どもにとっては、疼痛コントロール、薬物治療も大事だが、遊びが大事であると痛感しているので、今回の見直しで子どもに必要な支援の選択肢が広がると思う。
 - ・痛みの緩和だけではなく、不安の軽減も補助対象として文言に加えるべき。

- ・事業名に緩和という文字が入る方が良いと思う。目的を療養環境の整備とする方が、幅広く、かつわかりやすいのではないかな。

○「遠隔コミュニケーション支援環境整備事業」の補助対象について

- ・大阪府在住で、かつ府内の学校等に通っている人が対象となるという点や「府立高等学校を除く」という点が運用しづらいので、検討をお願いしたい。
- ・初年度通信費については、交付決定以後の期間だけでなく、遡って4月から3月までの分を対象としていただきたい。
- ・募集から締切りまでの期間が短く、対象医療機関が申請しそびれることがあるので、募集期間についても検討もしていただきたい。

(3) 地域統括相談支援センターの事業開始について（報告）

【意見要旨】

○ピア・サポートについて、運用がうまくいけば、Webでの支援等も導入し、小児・AYA世代や小児がん患者の親への対策としても活かしてほしい。

○病院からの紹介等だけでは、地域統括相談支援センターがなかなか広まっていかないと思うので、戦略が必要だと思う。

○事業についてしっかりアセスメントを行いながら、実施していくべき。

<その他>

付き添い家族の療養環境の改善についても今後検討してほしい。